

# Business Report

# へんしん

第43期 第2四半期

[平成25年4月1日～平成25年9月30日]



トレーラー型強力吸引作業車  
SMEH-13SVP+TR-220



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長  
山口 隆士



代表取締役社長  
佃 維男

## CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 
- 2 財務ハイライト
- 
- 3～4 財務諸表
- 
- 5～6 事業概要
- 
- 7～8 製品トピックス
- 
- 9 トピックス
- 
- 10 会社情報

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第43期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

### 中期経営計画・第43期全社活動方針

当期は、中期経営計画（3ヶ年）「S・I・N・C・A」（一進化・深化・真価一）の初年度であり、重点実施事項としまして

1. 製品とサービスの進化と技術の深化による、顧客満足の向上
2. 新製品開発・新市場開拓による  
顧客ニーズへの対応と企業価値の向上
3. 活力あふれる組織の創造

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

## 営業の概況等

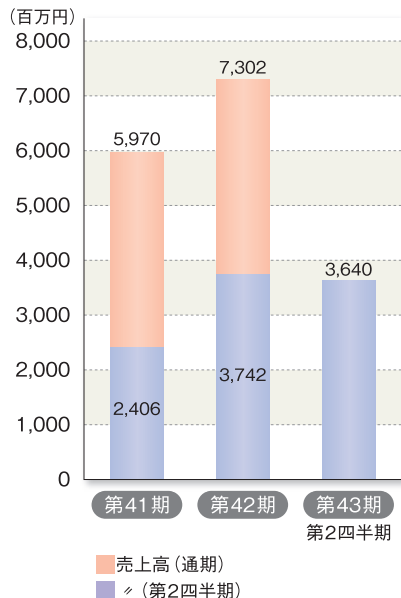
当第2四半期における我が国経済は、外国為替の円安傾向での安定等により、輸出企業を中心に景況感の本格的な回復が伝えられております。

当第2四半期の業績につきましては、前期から引き続き、高水準の生産活動を維持しました。大口案件やレンタル向け強力吸引作業車・高圧洗浄車をはじめ、洗浄吸引型路面清掃車の納入等もあり、全般的に好調に推移いたしました。この結果、前第2四半期と同水準の業績となり、受注も洗浄吸引型路面清掃車が好調等、引き続き高水準で推移

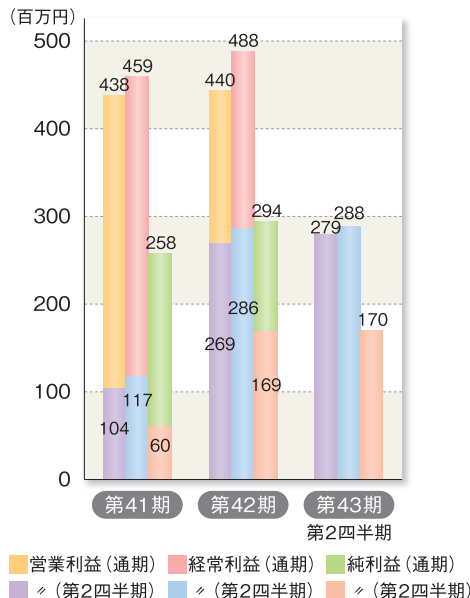
しております。

業績(数値)につきましては、前第2四半期に比べ受注高は114百万円減の3,667百万円(前年同四半期比3.0%減)、売上高は102百万円減の3,640百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。損益につきましては、営業利益は9百万円増の279百万円(前年同四半期比3.7%増)、経常利益は1百万円増の288百万円(前年同四半期比0.7%増)、四半期純利益は0百万円増の170百万円(前年同四半期比0.3%増)を計上することとなりました。

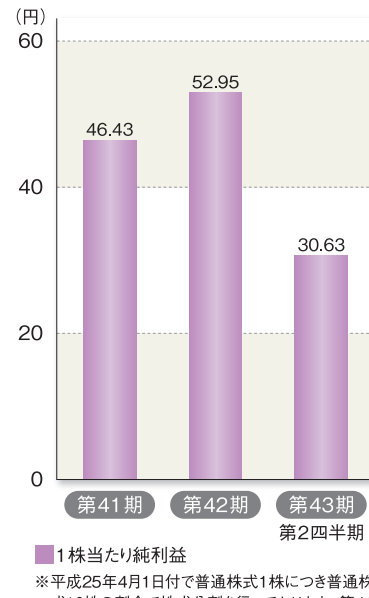
### 売上高



### 営業利益・経常利益・純利益



### 1株当たり純利益



※平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。第41期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当第2四半期末 (平成25年9月30日)	前 期 末 (平成25年3月31日)	増 減 (△印減)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	3,725,095	3,755,635	△30,540
固定資産	2,062,293	2,057,668	4,625
有形固定資産	1,794,740	1,786,480	8,260
無形固定資産	59,747	55,912	3,834
投資その他の資産	207,805	215,274	△7,469
資産合計	5,787,388	5,813,303	△25,914
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	2,436,350	2,545,258	△108,907
固定負債	242,645	240,847	1,798
負債合計	2,678,996	2,786,105	△107,109
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	3,107,800	3,023,077	84,722
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	2,439,864	2,355,129	84,734
自己株式	△1,785	△1,773	△11
評価・換算差額等	592	4,120	△3,528
純資産合計	3,108,392	3,027,197	81,194
負債純資産合計	5,787,388	5,813,303	△25,914

**資産の部**

総資産は、前期末残高に比べ25百万円減少し、5,787百万円となりました。これは主に、売上債権の増加315百万円等はありませんが、現金及び預金の減少278百万円及びたな卸資産の減少99百万円等によるものであります。

**負債の部**

負債は、前期末残高に比べ107百万円減少し、2,678百万円となりました。これは主に、引当金の増加93百万円等はありませんが、仕入債務の減少174百万円等によるものであります。

**純資産の部**

純資産は、前期末残高に比べ81百万円増加し、3,108百万円となりました。これは主に、剰余金の配当85百万円等はありませんが、四半期純利益の計上170百万円によるものであります。

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

**損益計算書**

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増 減 (△印減)
売上高	3,640,159	3,742,218	△102,058
売上原価	2,749,710	2,877,242	△127,531
売上総利益	890,448	864,975	25,473
販売費及び一般管理費	611,197	595,692	15,504
<b>営業利益</b>	<b>279,251</b>	<b>269,282</b>	<b>9,968</b>
営業外収益	9,348	17,664	△8,316
営業外費用	544	817	△272
<b>経常利益</b>	<b>288,055</b>	<b>286,129</b>	<b>1,925</b>
特別損失	37	77	△39
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>288,017</b>	<b>286,051</b>	<b>1,965</b>
法人税等	117,762	116,340	1,421
<b>四半期純利益</b>	<b>170,255</b>	<b>169,711</b>	<b>543</b>

**売上高**

当社主力製品の強力吸引作業車が前年同四半期比1.9%減の2,494百万円、汚泥吸引作業車が61.7%減の40百万円、高圧洗浄車が9.1%増の445百万円等となり当第2四半期売上高は、3,640百万円となりました。

**四半期純利益**

大口案件やレンタル向け強力吸引作業車・高圧洗浄車をはじめ、洗浄吸引型路面清掃車の納入等もあり、前年同四半期と同水準の四半期純利益170百万円を計上することができました。

**キャッシュ・フロー計算書**

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,786	26,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,964	△53,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,131	△125,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△807
現金及び現金同等物の減少額	△249,882	△152,954
現金及び現金同等物の期首残高	619,762	769,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	369,879	616,562

**平成26年3月期の業績予想**

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしました。

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	修正予想	当初予想 (5/10発表)	増減額	増減率 (%)
売上高	7,200	7,000	200	2.9
営業利益	484	385	99	25.7
経常利益	500	400	100	25.0
当期純利益	291	234	57	24.4

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。  
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の用途及び売上推移は、次の通りです。

**強力吸引作業車・汚泥吸引作業車**

売上高 **2,535**百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

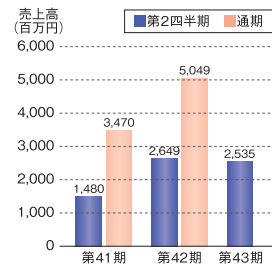
- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SS-16DWFP)



強力吸引作業車 (NS-04CVP)



**新製品等／その他／部品販売・修理**

売上高 **553**百万円

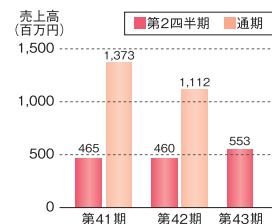
新製品やその他の区分に属さない製品及び部品販売・修理などが含まれています。



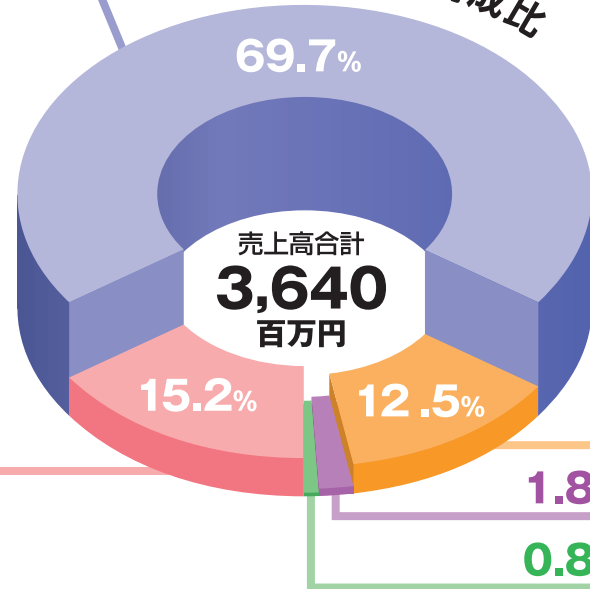
トレーラー型強力吸引作業車 (SMEH-13SVP+TR-220)



部品：ルーツブロー



製品別売上高 構成比



**高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機**

売上高 **455**百万円

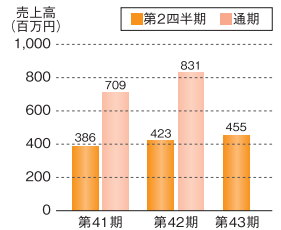
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04W2320A)



**粉粒体吸引・圧送車**

売上高 **67**百万円

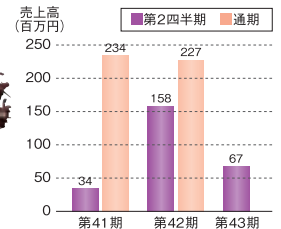
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程輸送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
- 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引圧送車 (SP-16BVYTA)



**定置型吸引機**

売上高 **28**百万円

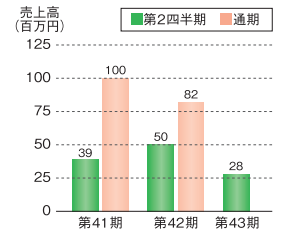
当社技術の原点となる製品です。工場での環境改善や省力化などに活用されています。

〈用途〉

- 塗装プラスチックの回収
- 工場内清掃
- フライアッシュの回収



定置型吸引機 (EL-100SV)



**汚泥脱水機 (車)**

(当第2四半期に売上はありませんでした)

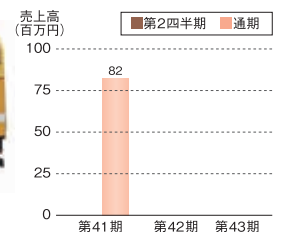
多様な汚泥の脱水が可能な遠心脱水方式やベルトプレス他、ニーズに合った脱水システムが可能です。

〈用途〉

- 建設汚泥の脱水・リサイクル
- 中間処理施設での脱水
- 生コン汚泥の脱水・リサイクル



トンネル洗浄水処理車 (SP-04DB)



## トレーラー型強力吸引作業車 (SMEH-13SVP+TR-220)



トラクタ側に吸引装置を、トレーラー側にレシーバータンクを架装し連結させて作業を行う強力吸引作業車です。

トレーラータイプへの架装としては最大風量40m<sup>3</sup>/minを実現しました。タンク容量22m<sup>3</sup>と積載量20tが特徴で、一度に大量の吸引物を輸送することができます。



トラクタ側

## ショートホイールベース車に架装した 強力吸引作業車 (SM-11CVJP)



風量40m<sup>3</sup>/minのスーパーモビルをショートホイールベース車に架装しました。

2デフ・20tでありながらコンパクトな車両です。小回りが利き、狭い場所での作業を可能にしました。

## 乾湿切換付粉粒体吸引作業車 (SP-06DVFPAL)



リフトアップ機構付の粉粒体吸引作業車です。粉体吸引後、レシーバーハッチに設けた小ハッチに脱着式フードを装着してフレコンバックへ粉体を回収することができます。また、切換により液体を吸引することもできます。



# 環境放射能除染・廃棄物処理国際展 (RADIEX) 2013に出展

平成25年9月25～27日、東京の科学技術館で「世界の知見を結集！除染の最適化と加速化へ」をテーマとしたRADIEX2013が開催されました。当社はパネルによる除染技術を紹介し、多くのお客様に訪れていただきました。



▶ 展示したパネル

**洗浄吸引型路面清掃車 ロードリフレッシャー**

**Road Refresher** 高圧水を路面に噴射・洗浄し、洗浄汚水を吸引回収して路面を清掃します。



**特長**

「ロードリフレッシャー」は高圧のエア技術である高圧洗浄と強力吸引をマッキングさせた洗浄吸引型路面清掃車です。低騒音のし音が広範囲・吸引・高圧を行うことができます。噴射方向に合わせた洗浄吸引パターンメントで路面への高圧水噴射、洗浄汚水の吸引回収を行います。道路清掃作業を安全に効率的に行うことが可能です。

**清掃作業の様子**





**洗浄吸引アタッチメント**




**高圧水噴射装置**




**【参考スペック】**

型 式	RD-6700型
機 体	7.7m×2.8m
機 体 重	2.0t
吸引 高 度	40cm/100cm
吸引 静 圧	-30kPa
吸引 能力	2500ℓ×5000mm

**K&E 兼松エンジニアリング株式会社**

## 株式市場統合により東京証券取引所市場第二部に上場

平成25年7月16日、東京証券取引所と大阪証券取引所が市場を統合し、当社は東京証券取引所市場第二部上場会社となりました。これに先立ち平成25年4月1日、株式の分割、単元株式数の変更を実施、当第2四半期末までに売買成立日数や株主数の大幅増加といった効果が見られています。



## 会社の概要

設立年月日	昭和46年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	164名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

## 役員

代表取締役会長	山口 隆士
代表取締役社長	佃 維男
常務取締役	山本 琴一
取締役	柳井 仁司
常勤監査役	中村 修身
社外監査役	西岡 啓二郎
社外監査役	平井 雄一

## 事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場	〒783-0007 高知県南国市明見913-11 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター	〒783-0007 高知県南国市明見898-20 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル2F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒452-0809 名古屋市西区花原町40 TEL (052) 501-3171 FAX (052) 501-3095
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

## 株式の状況

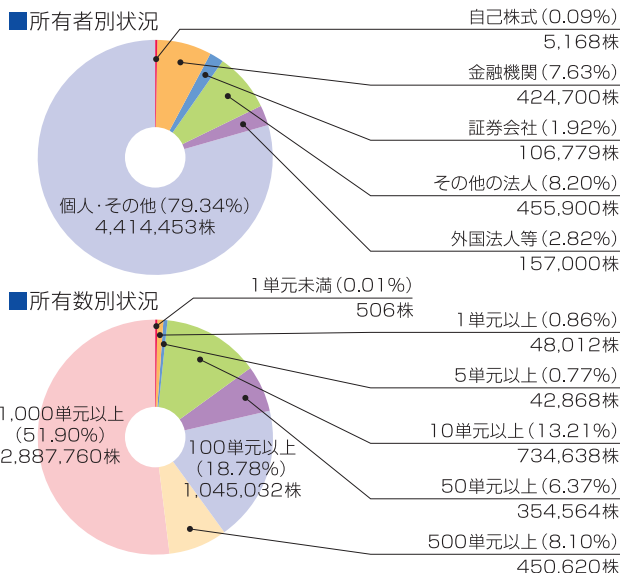
会社が発行する株式の総数 17,576,000株  
発行済株式の総数 5,558,832株  
(自己株式5,168株を除く)

株主数 904名

### 大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	554,100株	9.97%
三谷浩溢	425,360株	7.65%
山本琴一	423,800株	7.62%
株式会社扇港鋼業所	326,300株	5.87%
山口隆士	311,532株	5.60%
山本吾一	262,860株	4.73%
柳川裕司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本洋介	133,848株	2.41%
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASH PB)	100,000株	1.80%

## 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

**K&B 兼松エンジニアリング株式会社**

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>



古紙配合率100%再生紙  
このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。